

平成30年度 あいかわ町民活動応援事業 審査結果一覧

No.	事業名	新規・継続	団体等名	代表者名	設立時期	総事業費 (円)	補助 申請額 (円)	申請内容	採否	補助金交付額 (円)
1	中津川仙台下河川敷整備および花畑事業	継続	中津川仙台下クラブ	沼田 彰	平成23年6月 (6年10ヶ月)	1,265,500	300,000	<p>中津川仙台下河原(角田地内)を整備・保全するための「草刈り・整地作業」と、町内の名所づくりを目指す、「花畑造り」を実施するもの。</p> <p>「花畑造り」は、団体が維持管理している仙台下の農地に、春は菜の花、夏はヒマワリ、秋はコスモスなどの季節の花が咲くよう、種からの栽培や苗の植付けを行うもの。作業には、ボランティアを広く募るなど、多くの町民の手作りによる名所づくりを目指す。今年度からは愛川高校生のボランティア体験学習にも協力する予定。</p> <p>この事業によって、本町の豊かな自然や、中津川の水辺環境を整備・保全し、町民等共通の憩いの場として、また、愛川高校生の体験学習の充実や、町内の育成会活動等、各種イベント会場としての利活用を促進し、町のシンボルとして身近な水辺環境(中津川)に気軽に親しんでもらい、「愛川町のイメージアップ」を図る。</p>	採用	300,000
2	愛川に稲作漁労文化およびマコモを復活させる事業	継続	NPO法人地球と共に生きる会	渡邊 政男	平成14年7月 (15年8ヶ月)	155,000	124,000	<p>自然環境の改善と食生活の改善を促進するために、箕輪耕地の遊休・荒廃農地や、休耕田を活用し、マコモ栽培と米の無農薬による作付けを行うもの。</p> <p>農作物の作付けにあたっては、広く町民等、子ども達の参加を呼びかけ、農業体験や田植え体験を実施する。</p> <p>また、お田植え祭や、流し雛などのイベント的な要素も取り入れつつ、日本古来の文化に触れる機会を提供するなど、多くの町民等が興味を持って、この事業に関わりを持てるよう、地域おこし(まちづくり)としての効果も期待し、実施する。</p> <p>将来的には、マコモを愛川町の特産物として愛川ブランドの認定を受けることや、マコモを原料に加えた消臭・防虫効果の高いマコモ和紙の普及を目指す。</p>	採用	124,000
合計						1,420,500	424,000			424,000